

各社からAI制作ソリューション

NAB Show 2026 4月18—22日 米ラスベガスで

スイッチャーの中にAI実装

NAB Show 2026 (米国ラスベガス・ラスベガスコンベンションセンター) 4月18—22日、機器展示は19日から「現地時間」には1100社以上が出展。最新のIPライブ制作ソリューション、AI、クラウド、XR、スポーツテック、クリエイターエコノミーなど、業界の主要トレンドが集結する。

現場の運用効率大幅に向上

ソニーは、「THEP OWE R BEHIND YOUR STORY」をテーマに、①ライブプロダクション②ニュース&プロダクション③イメーシング④バーチャルプロダクションの4ソリューションを展開する。ライブプロダクションにおいては、かねてから展開している「New orked Live」をIP化、ソフトウェア化、AIという3つの価値についてデモする。

ベースバンドと同様の環境

池上通信機は、リモートプロダクションのライオンアップとして、ベースバンドのライブプロダクションワークフローと同様に、ST2110 I Pリモートオペレーションを可能にするIPエクステンションユニット「IPX-100」を展開する。

Media kindは、次世代のライブ映像処理プラットフォーム「M K. IO Beam」を、高品質な映像・音声のエンコード/デコードを効率的に実行できる。クラウドと接続され、

自動スポーツ撮影システムも



機器展には1100社以上が出展する(写真はNAB Show 2025)

るソリューションを提案する。また朋栄は今回、これまでのハードウェア展示ではなく、キオスク端末を活用したインタラクティブな展示方法を採用した。スペインのAlfa Lite社製LEDウォールをブース内に設置。没入感のある映像などで製品や今後の取り組みを説明する。

AIツールによる運用コストの削減、AIを活用したレジュアルベースのミキシングやシステム構成の自動生成機能などにより、制作現場の運用効率を大幅に向上させ「QC studio」(キ

非IP KVMメーカのIHSEは、HDから8Kまでの解像度をシームレスにスイッチング可能なDraco XS teamシリーズを展開する。

ルなど、幅広いプロフェッショナル用途に対応可能なDante AV Ultra製品群「Dante AVシリーズ」を展開。EditShareは、AIを活用したメディア運用と高性能NVMストレージにおける最新技術を発表する。

TBCコンソールは、マスター・サブ調整卓として実績豊富な「IntelliTrac」、映像編集に特化した「SmartTrac」など、

送局・制作スタジオをはじめ、企業・教育機関「Tracシリーズ」を中心に展示する。

NAB SHOW
Booth #C4920

プロセッサの最高到達点へ。

マルチチャンネルプロセッサ
FA-1616



NAB SHOW 出展概要 1

4つのソリューションを柱に展示

ソニー

【ブースNo.C8401】

ソニーは「THE POWER BEHIND YOUR STORY」をテーマに、「ライブプロダクション」「ニュースアクトプロダクション」「イメージング」「バーチャルプロダクション」の4つのソリューションを柱に展示する。

ライブプロダクション「Networked Live」は、IP化とソフトウェア化、AI利用が可能。新製品のソフトウェアゲートウェイ「MOXELA (モクセラ)」を加えるなど、ソフトウェア化を進める。MOXELAは外部からの信号を変換しオン

プレクラウドに分配する製品。

ニュース制作は、動画情報の信頼性と伝送から編集までの効率化、ワークフロー連携による即時性を実現。新製品のネットワークRXステーション「PWA-RX S」は、撮影現場から伝送されたネイティブファイルをタイムコードやGPS情報、真正性情報などのメタデータとともに受信し、即時利用を可能にする。

イメージングソリューションの新製品としては、HDC「R」シリーズをリリース。現行ラインアップを刷新し、統一された4Kイメージャーを搭載した。カメラは「HDC-5500R/RV」「HDC-3500R/RV」「HDC-3200R」の3製品。新

テレストリーム

【ブースNo.W1503】

主な展示内容は以下の通り。
◇Vantageの強化：トランスコードソフトVantageの周辺機能をより強化。映像の内容を見てメタデータを作る「AI Vision」、音声の内容でメタデータを作る「AI Speech」などシステムの自動化により貢献する機能を実現。
◇Global Ingest：SDIや各種IP (ST2110, NDI, SRTなど) を入力してファイル化 (MXFなど) するLightspeed Live Captureの機能がより充実
◇Qualify：ファイルQC。リップシンク測定やC2PAにも対応。Vantageの一機能という位置付けであったが、専用UIも完成しスタンドアロンとしても使用可能になった。
◇DIVA：LTOからCloudまで、あ

らゆるストレージに対応したアーカイブ・マネージメントソフト。メタデータだけでなくプロキシ映像での検索も可能で、ユーザーフレンドリーな操作を提供。

◇UP：SaaS製品。デスクトップ版とサーバー版がある。ラインアップは次の5種類=①UP. Capture、②UP. Ingest、③UP. Review、④UP. Lens、⑤UP. Workflow。

◇PULSE：ソフトウェア版のPRISM (波形モニター) とも言える新製品。100GB/40GBインターフェースで入力したST2110の複数ストリームを、最大8ユーザーがそれぞれの項目で監視可能。

◇PRISM：NDI監視機能、IP (ST2110) を見ながらSDIを常時監視するSDI Vuなど新機能を搭載。

◇SPG9000：新ファームウェアVer5.1を発表。動画出力、8K対応などパターンジェネレーターとの機能がより充実。

■「出展概要」の社名は、出展会社または日本の代理店・販売店契約会社、ブースNoの「C」はセントラルホール、「N」はノースホール、「W」はウエストホールを示す

しい撮像機能として、ダイナミックレンジの拡張、低照度環境でも安定した撮像ができる感度モード、-64dbのS/N性能を搭載。Wide Color Gamutモードにも対応。

バーチャルプロダクションでは、プリプロダクションから撮影、ポストプロダクション工程までのソリューションを一堂に集め、幅広いサポートを提供できることを訴求。ブースではカメラトラッキングシステム「OCELL US」、Crystal LED CA PRI、Virtual Production Tool Setのほか、「XYN空間キャプチャーソリューション」

を披露する。空間キャプチャーソリューションは高品質な3DCGアセットを生成し、空間コンテンツとして活用するワークフローをサポートする。



XYN空間キャプチャーソリューション (SpatialScanNavi)

次世代メディア制作ロボティクス

EVS

【ブースNo.N1841】

注目の最新ロボティックカメラソリューションとして、スタジオから屋外まで対応する、次世代メディア制作ロボティクス「T-Motion」を初展示。T-Motionは、人間の直感、ロボティクス、オートメーション、AI技術を融合。既存ワークフローにシームレスに連携可能で、あらゆる瞬間を精密にとらえ、自由な表現力を提供する。T-Motionの操作性を向上する新コントローラー「Choreon」も展示。高度な自動化と、オペレーターの感性に寄り添ったカスタマイズ性を両立する。

LiveCaptionゾーンでは、ライ

ブ中継のニーズに応える最適なソリューションを展示。ライブ制作の要となる、高品質のリプレイおよびハイライト制作ワークフローを提案する。熟練オペレーターの要求に応えるリアクティブな操作ツールを提供し、大規模なスポーツ中継から小規模な制作まで柔軟に対応。また、最新の生成AIを活用したエフェクト機能では、視聴者の感情を揺さぶるドラマチックな演出を瞬時に作成する。

Flexible Control Roomゾーンでは、IP技術と仮想化により、制約のない制作環境を実現。MediaCeptionゾーンでは、強力なコンテンツ管理と、収録・再生を1台で完結する「MOVE」を展示する。

〈国内取り扱い：フォトルン〉

MediaKind

NAB2026
ブース No.W1743
是非ご来場下さい!



MediaKind MK・IO BEAM
プラットフォーム用ビデオサーバー

放送、映像配信、ライブストリーミング、VOD、PPV 対応エンコーダー、デコーダーを構築可能

株式会社マウビック



<https://www.moubic.co.jp/inquiry/>

POMFORT^{fn} **LiveGrade PRO**
ボムフォート ライブグレードプロ

ライブグレードで
オンセット・カラーグレーディング

POMFORT^{fn} **Silverstack**
ボムフォート シルバースタック

オールインワン撮影素材管理ツール「シルバースタック」
大切な素材管理とカラーの
ワークフローをシンプルに。

TOOLS ON air **just: in**
多チャンネル ベースバンド インジェストシステム

ジャスト イン

- 多チャンネル同時収録
- 4K / HD対応
- スケジュール収録
- 同期収録
- 各種コーデック
- mxFへの収録
- 追っつけ編集対応
- RS422 VTR制御

TOOLS ON air **just: play**
Macで構築する番組自動送出システム

ジャスト プレイ

- 4K&HD対応 / サイマル送出 / IPストリーミング
- コーデック・解像度選定に対応 / 自動ルーター制御
- 強力なCGレイヤー / フェイルオーバー対応 / ライブフォーカス / XMLプレリストインポート / ルーター制御

プロジェクト共有・管理 編集コラボレーションシステム

STRAWBERRY
PROJECTIVE

「Strawberry」は、Avid、Adobe Premiere、Final Cut Proなど、プロフェッショナルビデオ編集環境のネットワーク共有ストレージ上で、独自の仮想抽象レイヤ技術でプロジェクトとコンテンツ、ユーザーとグループを管理、プロジェクト共有とプロジェクト管理を実現し、より高度な素材データ共有を効率化する編集コラボレーションシステムです。

えいぞうこ **EIZOKO**
NAS機能つきアーカイブアプライアンス

シナジー「EIZOKO」は、LTOテープへのアーカイブとアーカイブ後のデータ活用を迅速にする機能を備えたアーカイブシステムです。簡易MAM機能を備えたArchiverse P5 ArchiveをストレージOSに統合し、あらゆるメディアデータをLTOで保管・管理、映像や音声データをプロキシメディアとともに保管するだけでなく、WordやPDF、予算管理などのExcelデータまでのすべてをLTOにアーカイブし、インデックス管理します。

ROOT6 TECHNOLOGY **CONTENTAGENT**

ファイルベース ワークフロー自動化ツール

- 映像・音声ファイルの自動トランスコード
- ノードベースのGUIで自動化ワークフローを構築
- メタデータ抽出・変更
- QCチェックツールとの連携
- GPU処理によるフレームレート/解像度/IP変換

映像用途に特化した国産NASストレージ **MIDO NAS**

ARCHIWARE
P5 Archive
LTO等にデータを長期保管
メタアセット管理機能搭載

株式会社シナジー www.synergykk.com 03-4563-1901

AV SHOW 出展概要 2

インタラクティブな展示方法を採用

朋栄

【ブースNo.C4920】

今回は新たな試みとして、ハードウェア展示ではなくキオスク端末を活用したインタラクティブな展示方法を採用。ソフトウェアデファインド製品やAIソリューションなど幅広い製品ラインアップの機能情報、デモ動画、GUIなどにタッチスクリーンからスムーズにアクセスできる。さらに、スペインのAlfalite社製LEDウォールをブース内に設置し、没入感のある映像などを通じて朋栄の最新の製品や今後の取り組みについて説明する。

出展内容は、多くの期待を集めるソフトウェアデファインド製品およびAIソリューションを活用したライブ制作ワークフローに重点をおいた展示を実施。9対16のリアルタイム自動クロップやトラッキングをするAIツールによる運用コストの削減、AIを活用したビジュアルベースのミキシングやシステム構成図の自動生成機能などにより、制作

現場の運用効率を大幅に向上させるソリューションを提案する。

機能統合型ライブ制作ソリューション「FOR-A IMPULSE」は、高速なGPU処理能力を備えたサーバー上に、プロセッサー、マルチビューワー、ビデオスイッチャー、オーディオミキサーなど、放送に必要な機能をソフトウェア化し、1つの筐体に集約することで「ステーション・イン・ア・ボックス」のコンセプトを具現化したソリューション製品。直感的なウェブGUI「Graph Editor」により、必要な機能を組み合わせ「パイプライン」の構築が可能。



朋栄ブースのイメージ

ヤマハ

【ブースNo.N2161 (NDIブース内)】

MoIP用途に最適なSMPTE ST2110環境のコアとなるPTPv2 BC対応の最新L3スイッチ「SWX3220-30 TCs」を展示する。

主な特徴は、①高精度な時刻同期 (PTPv2 BC/TC対応) =サブマイクロ秒の同期を実現するPTPv2を標準サポート。複雑な構成でも映像や音声のズレを防ぎ、

極めて安定したIP伝送網を構築、②100Gポート×2ポート搭載=100G (QSFP28) 2基、25G (SFP28) 4基を搭載しており、サブスタジオ/リーフスイッチなどの用途に適している、③放送品質を支える高信頼性と稼働実績=デュアル電源 (PSU×2) による無停止運用に対応。さらに「Interop Tokyo ShowNet」のMoIP網にて、多数の放送局や機器との相互接続をクリアした「証明済み」の信頼性を誇る一など。

アマゾン ウェブ サービス

【ブースNo.W1701/シアターW1333】

コンテンツ作成、メディアライフサイクル管理、マルチプラットフォーム配信、収益創出という4つの主要分野にわたるデモを実施。さらに、ポッドキャストのライブ配信を体験できる。

「AWS Elemental Inference」が人工知能を活用して縦型ビデオのクロップとクリップイベントの検出を自動化し、手作業を削減してビデオ制作ワークフローを加速させる方法をハンズオンデモで詳しく説明。20日午後12時45分(現地時間)からは、Fox Sportsがメインステージに登場し、AWSとのクラウド変革の道

のりを紹介するとともに、最先端技術を活用してスポーツ放送に革命を起こしている様子を実演する。

続いて、20日午後3時(同)からAWSシアターにおいて、業界リーダーであるGrabyo、Tagboard、ScorePlayとともに、AWS Elemental Inferenceがいかにかにシームレスなコンテンツ作成および配信ワークフローを実現するのか、実践的な事例を紹介する。

ウエストホールロビーでは連日、AIを活用したデジタルバスケットボールシューティング体験を提供。参加者は3回のフリースローを放つことができ、バイオメカニクスエンジンによって即座に分析され、パーソナライズされたデジタルプレイヤーカードが生成される。

制作現場の多様化に対応した製品群

パナソニック

【ブースNo.C3509】

パナソニックは、「Experience the Complete AV Ecosystem」を全体テーマに、近年多様化が進むさまざまな映像制作現場へ向けたAVエコシステムを展示する。メインコーナーでは「Welcome to the Arena!」と題し、スポーツイベント会場をイメージしたライブエンターテインメント空間を構築。実際のユースケースを交えながら、会場演出をサポートする最新技術を披露する。

Arena (アリーナ) エリアでは、LEDビジョンに囲まれたステージを用意し、撮影から会場演出、ライブ配信に至るまでのさまざまな課題と解決策を具体的に提案。IT/IPプラットフォーム「KA IROS」とカメラシステムを軸にした革新的なソリューションを体験できる。

4Kスタジオカメラ「AK-UCX100」では、スタジオカメラとして世界初という内蔵オートフォーカス機能を、実際の被写体を用いたデモを通じて説明。また、同カメラと組み合わせて使用するカメラコントロールユニット「AK-UCU700」シリーズのファームウェアバージョンアップを5月に予定。ST2110運用時でのハイスピード撮影に対応し、ライブ会場におけるシステムの簡素化と運用性を向上する新機能を実装する。さらに昨年発売したAK-UCX100と同一プラットフォームの新4Kマルチパーパスカメラ「AK-UBX100」も展示。

また、PC/タブレットからスタジオカメラとリモートカメラの状態確認・画質調整が可能なソフトウェアプラグイン「Image Adjust Pro」を初出展。ブース内のカメラに接続し、実際の現場に即した操作体験ができる。

Ikegami

ignis

池上通信機がつくる トータルシステムソリューション

80th
Ikegami
Anniversary

MoIPとSDIのハイブリッドシステムに対応。
放送現場の未来をもっと自由に。

「ignis」は、システム統合管理ソリューション「ignis mc」とメディア信号処理プラットフォーム「ignis mp」を連携させたトータルシステムソリューションです。

お客様のシステム構築と運用をよりフレキシブルに、よりスムーズに、そして、よりセーフティに進化させていく新しいシステムソリューションです。

ignis を選んだ
お客様の“声”を聴く

MBC 南日本放送様
受注インタビュー映像▶



池上通信機株式会社 〒146-8567 東京都大田区池上 5-6-16

www.ikegami.co.jp

お問い合わせは ●営業・マーケティング本部 放送第1営業部 TEL: 03-5748-2201 / 放送第2営業部 TEL: 03-5748-2261 ●大阪支店 TEL: 06-6389-4466 ●名古屋支店 TEL: 052-705-6521 ●九州支店 TEL: 092-451-2521 ●仙台営業所 TEL: 022-292-2420 ●札幌営業所 TEL: 011-231-8218

SHOW 出展概要 3

圧縮メディアをライブ、配信に展開

AJA Video Systems

【ブースNo.N1927】

「BRIDGE LIVE IP」は、わずか1RUのサイズで柔軟なエンコード、デコード、トランスコード機能を備えた。ST2110放送、ライブイベント制作、およびストリーミングプラットフォームへの統合を簡素化する。最大4chのUltraHDp60、または最大8chの1080p60 HDを送受信。Comprimatoとの共同開発により構築されたこのデバイスは、他のAJA BRIDGE LIVE SDIベースのモデルが持つ、リモートプロダクション、同期マルチチャンネルビデオコントロール、ストリーミング、およびマルチビットレート/マルチフォーマット配信における中核的な機能の多くを解放する。

HD/SD/AES-11シンクジェネレーター「OG-GEN10」は、9系統のHD/SDリファレンス出力と1系統のAES-11リファレンス出力を備え、信頼性の高いオーディオおよびビデオの同期をするために、より多くの



IP25-R

デジキャス

デジキャスが取り扱うメーカーの出展概要は次の通り。

◆ROSS Video【ブースNo.N2005】

制作から送受までを統合した環境によるデモ。XPression (グラフィックス)、Ultrix (ルーター・信号処理・プロダクションスイッチャー)などを連携させ、スポーツやライブ制作を想定したワークフローを提示。複数システムを横断した一体運用により、効率化と即応性を両立する実践的な運用イメージを披露する。

◆TAGVS【ブースNo.W2323】

IP・OTT向け大規模監視をテーマに、マルチビューアーとリアルタイム解析を組み合わせたクラウド・オンプレ対応の統合監視環境を展示。多数のIPストリームを可視化し、品質監視やアラート連携を含めた運用フローを提案。クラウドや分散環境を

機器をマスタークロックにロック(同期)させることができる。AJAの「GEN10」ミニコンバーターの機能セットを基盤としており、より多くのリファレンス出力を導出し、冗長電源、さらにROSS DashBoardソフトウェアを介したリモートでの構成と制御機能を提供する。

ST2110ミニコンバーター「IP25-R」向けの新ファームウェアv2.0(アップデートは無料ダウンロード)は、IP25-Rの機能セットを拡張し、ユーザーが12G-SDIからST2110またはHDMIへの変換に新しいTx(送信)モードを活用するオプションをもたらす。TxモードとRx(受信)モードの切り替えは、シンプルなドロップダウンの選択だけで完了する。

〈日本国内取り扱い: フォトロン〉

含めた監視の一元化と拡張性を提示し、将来的な予兆監視の実現に向けた方向性を示す。

◆Appear【ブースNo.W1531】

高密度・低遅延・マルチフォーマットに対応した高品質伝送プラットフォームを軸に、SRTを利用したリモートプロダクション環境を展示。現場からの映像伝送や分散制作を想定し、ネットワーク環境に応じた柔軟な構成で、安定性と即応性を両立した運用モデルを示し、次世代の制作スタイルを具体的に提案する。

◆Techex【ブースNo.W2267】

クラウド上でメディア制御を実現するIPベースのソリューションを展示。直感的なGUIとロジック設定により、クラウド上でTSルーティングや信号処理を効率化。クラウドプレイアウトやSCTE-35挿入・マルチ配信を統合し、低遅延かつ高信頼なライブ制作・伝送環境を提示する。

LiveU

【ブースNo.N1740】

LiveUは、ライブ制作の効率化とIPワークフローの高度化を実現するLiveUエコシステムを展示する。最新のモバイル伝送装置「LU900Q」では、LiveU独自のネットワーク最適化技術「LiveU I/Q(LIQ)」を搭載、通信状況をリアルタイムで分析し、最適な回線を自動選択することで、より安定したライブ映像伝送が実現する。またeSIM対応や5Gネットワーク最適化、MIMOアンテナアレイにより受信性能が大幅に向上、ニュース取材やスポーツ中継など過酷な環境でも高画質な映像伝送が維持できる。

さらに、IP映像の受信・分配を統合するゲートウェイ「LiveU Nexus」、制作リソース管理と配信スケジュールの自動化サービス「LiveU Schedule」、マルチユーザー機能を所有した法定記録装置「Actus X」など、ライブ制作ワークフローの効率化ソリューションを提案する。

〈日本国内取り扱い: 三信電気〉



LU900Q

没入型ビデオワークフローを提案

シナジー

シナジーが日本国内で取り扱う各社の出展概要は以下の通り。

◆Pomfort【ブースNo.C6534】

オンセット撮影ツールを手掛けるPomfort(ドイツ)は、ゲーディングツールの「Livegrade」v7.1を公開。また、オンセットビデオアシスト・プレイバックソフトウェア「Reeltime Pro」&「Reeltime Lite」、「Silverstack」の次期バージョンv9.2の新機能を



Pomfort社「Reeltime」

を発表し、最新のバーチャルプロダクション、没入型ビデオワークフローを提案する。

◆Archiware【ブースNo.N1624】

「Archiware P5」を開発するArchiware(ドイツ)は、バックアップ、アーカイブ、シンクロナイズ機能を強化した最新版v8.0を発表。P5 Synchronizeモジュールでは、オンプレミスストレージとS3互換クラウドサービス間のシームレスな同期が可能。P5 ArchiveはEDLを介したプロジェクトベースのリストアに対応し、LTOハードウェア暗号化は最大限のデータセキュリティが確

保できる。さらにP5 Archive DL Mモジュールはクエリベースのプロジェクトストレージ監視機能を提供。チームがストレージ使用状況を追跡し、長期的にリソースを最適化する。

◆ToolsOnAir【ブースNo.N1258】

ToolsOnAir(オーストリア)は、要求の厳しい放送およびライブ制作環境向けに設計された次世代プロフェッショナルキャプチャソリューション「just·in mac pro 2026」を発表する。最大の長は、新しい自動フォー

マット信号検出機能。この主要機能に加え、新バージョンでは、ライブワークフローの効率化、サポートおよびメンテナンス状況の可視性の向上、チャンネルマルチビューワーの最適化、そして使いやすさと操作性をさらに向上させる数々の改良など、段階的かつ効果的な機能強化が幅広く導入されている。

◆Projective Technology【ブースNo.N3144】

プロダクションアセット管理システム「Strawberry」のv7を発表。インジェストと同時に文字起こし、メディアインテリジェンス機能を強化し、インデックスとプロキシエンコードにAIを取り込み、より検索性の高いシステムとなっている。また、スケーラブルなハイブリッドインフラストラクチャー「Strawberry Multisite」は、オンプレミスの制御とクラウドの柔軟性を両立し、アクセス権を管理しながらアーカイブ機能を統合する。

Draco Tera KVM シリーズ

日本国内放送局様で350システムを超える豊富な採用実績
圧倒的な安定性を誇る非IP-KVM

- 非IPの独自プロトコルにより、大型システムでもトラフィックに影響されない安定運用
- システムの冗長化やバックアップシステムの構築により、重篤なトラブルを回避
- APIを使った外部制御に対応
- スイッチに接続するだけでKVMエクステンダーを自動認識
ネットワークの設定などは不要
- Draco Tera IP Gatewayにより、IP-KVMならではの柔軟性を兼ね備えたハイブリッドシステムを構築
- JPEG-XSを採用した圧縮技術により、240Hzなどのハイフレームレートにも対応



ITOCHU 伊藤忠ケーブルシステム株式会社

〒141-0022 東京都品川区東五反田3-20-14 高輪パークタワー TEL.03-6277-1824

IHSE製品の詳細は下記URLかQRコードよりご覧いただけます。
<https://ihse.jp>



NAB SHOW 出展概要 4

AI時代を牽引するIT機器展示

デル・テクノロジーズ

【ブースNo.N2629】
「AI時代を牽引するIT機器とソリューション体験」をテーマに、メディア業界を支えるITハードウェアをそろえる。最新のWorkstation Dell Pro Maxやデジタルハイエンドシリーズのモニターなど、多彩な新製品ラインアップを披露するとともに、実際の利用シーンを想定したソリューション展示を実施。
Dell Pro Max with GB10は、オンプレミスでAI環境が構築できる「手のひらサイズ」のスーパーコンピューター。NVIDIA社との共同展示で超小型の筐体でAI環境を手軽に構築できることをアピールする。
Dell AI Data Platformの展示



Dell Pro Max with GB10

では、AI時代における最新のITインフラの在り方や豊富な事例も紹介。制作現場における活用からアーカイブにおける膨大なデータの管理手法など、AIを駆使するための必要なハードウェアを学べる機会を提供する。
ブース内ではORBITAL STUDIOS

社の協力のもと、宇宙船に乗り込む参加型のバーチャルプロダクション体験も用意。日本語によるブース全体のツアー（随時受付）も実施。

BCNEXXT

【ブースNo.N2850】
クラウドネイティブ・プレイアウトプラットフォーム「Vipe (ヴァイプ)」を展示。Vipeは、柔軟なクラウドインフラにより、チャンネル要件に応じた柔軟なスケールリング、地理的制約を排除、運用を簡素化しコスト削減と効率化を実現。単なるチャンネル運用から収益最大化への転換を支援する。
また、IPベース配信への移行を支援、配信・インフラコストの削減、分散型プレイアウトに

よる高い柔軟性、地域配信やターゲティング広告による新たな収益機会、冗長化されたワークフローによる高い信頼性を提供、ビジネス強化の機会へと転換する。

HDRの品質向上と運用効率の両立のため、価値の高い領域（特にライブ）でのHDR活用、制作・配信環境に適したワークフロー設計、ライブ/ファイルの一貫した品質管理、不運用負荷軽減など、実運用に即した現実的なアプローチを提案する。

なお、Synamediaブース（W2851）において、パートナーとVipeを連携展示する。

Amagi

【ブースNo.W2331】
Amagiブースでは以下の内容について説明する。
◇放送クラウドの近代化：放送局やケーブルネットワークが、ライブ放送ワークフロー全体をオンプレミスからクラウドに移行し、運用効率とコスト削減を実現する方法。
◇スポーツやニュースのライブリモート制作：クラウド技術を使用して、オンデマンドでライブチャンネルを立ち上げたり、ライブオーケストレーション、編集/クリッピング、グラフィック、および公開を管理したりできる。

◇ストリーミング統合：単一のクラウドインフラストラクチャを使用して、ライブ、リニア、VODチャンネル、ストリーミング、FAST、放送テレビを管理する。
◇CTV広告：同社の配信ネットワークを通じてより多くのプラットフォームと視聴者にリーチし、高度なSSAIと広告マーケットプレイスを通じて広告収益を生み出す。
◇Amagi Intelligence：AmagiがAI/ML技術を活用してメディアワークフローにどのような好影響を与えているかを探る。

マウビック

マウビックが取り扱う米Media Kind【ブースNo.W1743】の「MK. IO Beam」は、次世代のライブ映像処理プラットフォーム。高品質な映像・音声のエンコード/デコードを効率的に実行できる。クラウドと接続されており、MK. IOポータルを通じて制御・監視・ライフサイクル管理が可能。ライブエンコード、マルチプレックス、信頼性の高いトランスポート、ストリーム条件設定、広告挿入など多彩な機能を備える。
「MK. IO BEAM for Contribution」は、現場から高品質な映像（最大4:2:2 10bit UHD）をIPや衛星経由で送信するエンコーダー。SRTやZixiなど多様なプロトコルに対応し、遠隔制御も可能。「MK. IO BEAM for Reception」は、受信側で映像・音声を復号・

再配信するデコーダーで、広告挿入やメタデータ処理、SDI/IP出力などに対応。両者ともMK. IOクラウドポータルで統合管理できる。

Vislink【ブースNo.W2523】「Cl iq」は、小型軽量ながら優れたワイヤレス伝送信頼性を備え高品質のワイヤレス映像伝送が可能。ボディカメラ、ドローン、および車載カメラなどのライブイベント放送アプリケーションに適している。

Vislink「HCAM」は、HEVC HD/4K対応ワイヤレスカメラトランスミッター。高画質・低遅延・小型・軽量・低消費電力を実現し、VマウントインターフェースやD-TapおよびDC駆動によりさまざまな運用に利用できる。あらゆるスポーツで、ケーブルによる制限なくアクティブで自由な撮影が可能。



BEAMサーバー

IP エクステンションユニット

池上通信機

【ブースNo.C3819】
ベースバンドでのライブプロダクションワークフローと同様に、SMPTE ST2110 IPリモートオペレーションを可能にするIPエクステンションユニット「IPX-100」を、リモートプロダクションに最適なラインアップとして出展する。カメララインアップとしては、UNICAM XEシリーズを中心にUHD HDR対応をはじめHFR対応、IP対応を実現したカメラシステムを披露。
UNICAM XEシリーズにオプション機能として搭載を計画中の「可変NDフィルター機能」も参考出展する。レンズのF値を一定に、NDフィルターで映像露出を制御することが可能となり、映像制作の幅が広がる。また、新開発の7型OLEDビューファインダー「VFE-P711AD」および7型LCDビューファインダー「VFL-P710AD」を新製品として展示する。小型・軽量化を実現したUHLマルチパーパスカメラでのシステムアップやフルHDマルチフォーマット液晶モニターをはじめとした4K/HDモニターなどもデモし、

多様化するニーズに応えるソリューションを提案する。

システムカメラUNICAM XE/Unicam HDシリーズ用のラインアップとなるIPエクステンションユニット「IPX-100」は、SMPTE ST2110に準拠したMoIPに特化したベースステーションで、IPリモートオペレーションを可能にする。オプションでIPゲートウェ



IPX-100

イ機能やJPEG XSに対応可能なため、さまざまなニーズに柔軟に対応でき、シンプルな構成でIPシステムへの拡張が望める。

VFE-P711ADは、高性能7型OLEDパネルの採用により、特にスポーツ中継やHFR (High Frame Rate) 撮影時に効果を発揮する。デジタルI/FおよびアナログI/Fの両方に対応しており、UNICAM XEシリーズおよびUnicam HDシリーズのカメラに接続可能。

4/28(火) 13:30~ NAB Show発表新製品紹介ウェビナー開催

Exciting New Products at NAB 2026



BRIDGE LIVE IP

高密度SMPTE ST2110 IP ストリーミングソリューション



OG-GEN10

openGear HD/SDおよびAES11 シンクジェネレーター



IP25-R

SMPTE ST2110⇄12G-SDI/HDMI 受信/送信 双方に対応



ウェビナーの詳細は右記QRコード、またはaja-jp.comへアクセスしてください



SHO 出展概要 5

ワークフローに沿った体験が可能

ゼンハイザーグループ

【ブースNo. 4931】

ブースは「Reliable Integration」「Connection」「Future & Innovation」の3つのエリアに分かれており、来場者はワークフローに沿って体験できる構成となっている。

まず、Sennheiser、Neumann、Mergingのソリューションによるコンテンツの収録・拡張・モニタリングから始まり、次に統合・



Spectera WebUI

接続のエリアでは、パートナーであるSoundBaseが、ブランドに依存しないRFプランニングおよび制御アプリの新機能について説明。そして最後に、「Future & Innovation」エリアでは、AMBE 0 Zone、Specteraの展示、Spectera Labが展開される。

最新のSpecteraファームウェアアップデート v1.3.0により、Specteraベースステーション向けのOpenAPI仕様17.0を公開。Spectera APIは、より高度な統合、新たなワークフロー、そしてパートナー主導のイノベーションを実現する。これにより、安全なHTTPSベースのSSCv2インターフェースを通じてリモートアクセスし、自身の制御システムやモニタリングダッシュボード、制作ワークフローへSpecteraを組み込むことが可能になる。

多様な運用ニーズに応える製品群

TBC Consoles

【ブースNo.C2426】

放送・映像制作分野におけるテクニカルファニチャーのリーディングメーカーとして、米国



IntelliTrac

サインと機能性、品質が高く支持されている。

展示では、代表的製品、モジュラーシステム「Tracシリーズ」を中心に、多彩なラインアップを披露。マスター・サブ調整卓として実績豊富な「IntelliTrac」、映像編集に特化した「SmartTrac」、自由度の高いモニターレイアウトを実現するモニターウォール「TracWall」など、さまざまな運用ニーズに応える製品群を実機でそろえる。

さらに、放送局のみならず幅広い分野の企業で導入されている制御卓「ControlTRAC」や、高さ調整機構を備えた電動昇降デスク「Elevon」も展示。

のみならず世界各国で高い評価を得ている。日本国内でもテレビ局・企業スタジオなど多様な現場で採用されており、そのデ

用途に応じてカスタマイズ可能な豊富なオプション類も多数用意する。〈日本国内取り扱い：ニッキャビ〉

平和精機工業/Libec

【ブースNo.C5216】

100mm三脚システムの新たなフラッグシップとして、全面刷新を遂げた「GSシリーズ」が誕生。今回のフルモデルチェンジは、金型から設計を見直した新開発のヘッド「GH75」(RHP75後継)および「GH85」(RHP85後継)を中核に据えている。過酷な現場でもカタつきを生じさせない抜本的な構造変更を実施。新設計のヘッドには、内蔵されたパネの強さを一目で確認できる「カウンターバランス・メーター」を新たに搭載し、精密なバランス調整を容易にした。

100mm三脚の新モデル「QL60B」および「QL60C(カーボン製)」は、クイックロックタイプの

三脚では最高峰となる60kgの耐荷重を誇り、高い剛性と安定性を実現。最大の特徴は、三脚上部のレバーひとつで脚の伸縮を自在にコントロールできる「クイックロック機構」(特許出願済み)を採用している。

プロ用三脚システムのベストセラー「TH-V」の後継機種、「TH-V2」は、軽量・コンパクト・リーズナブルというTHシリーズのアイデンティティを継承しつつ、「パン・ティルト独立式無段階可変フリクション機能」(特許取得済み)を搭載。定評あるヘッド性能はそのままに、三脚部には現代の撮影スタイルに即した大幅なアップデートを施した。新たに着脱可能な「マルチアングル・キャリングハンドル」を採用し機動力を高めている。

ノンリニア編集用共有ストレージ

伊藤忠ケーブルシステム

伊藤忠ケーブルシステムが日本国内で取り扱う各社の出展概要は以下の通り。

◆Venera Technologies【ブースNo.W1867】

QC(品質管理)ソフトウェアメーカー。マスターとエンコードファイルの比較解析をするRef-Q機能、ウォッチフォルダー対応による自動化を実現する。自社QCで検知した個所の通知・修正・承認をより容易にするプレイヤー「QCstudio(キュースタジオ)」を発表する。

◆ATEME【ブースNo.W1723】

配信ストリーミング関連製品を扱う。ネットフリックスとの複数年契約が実証するEmmy Award受賞の「Titan Liveエンコーダ

ー」を展示。Gen AI(生成AI・受動的)とAgentic AI(自律AI・能動的)をビデオ配信と運用に反映した実演を披露する。

◆Facilis Technology【ブースNo.N2052】

ノンリニア編集用共有ストレージ「HUBシリーズ」を主力に展示。リモート編集機能「FASTCache」(ファストキャッシュ)からプリローダーが新たに登場。キャッシュ作成中の素材や進捗状況の確認が可能になる。

◆IHSE【ブースNo.N2060】

非IP-KVMメーカー。HDから8Kまでの解像度をシームレスにスイッチング可能な「Draco XStreamシリーズ」を出展。ビデオウォール/マルチビューによるコントロールルーム向けKVMシステムとなっている。

◆Bitmovin【ブースNo.W3323】

配信エンコーダー・プレイヤー・アナリティクスなどを展示。「Player Web X」は広告再生、縦型ビデオのサポート、独自の適応型ビットレート(ABR)アルゴリズム「WISH」などの新機能を追加。「AI Scene Analysis」は、AIをエンジンに動画のメタデータや広告挿入のタイミングを自動生成可能。

BLUSTREAM

USB 3.2 Gen1 エクステンダーシリーズ

UEX3H / UEX3H-WP-US UEX3D / UEX3D-WP-US



UEX3H-WP-US



UEX3D-WP-US



UEX3H



UEX3D

株式会社エーディテクノ
〒102-0083 東京都千代田区麹町 6-2-6 PMO 麹町 7F
TEL: 03-3262-3350 / FAX: 03-3262-3353
[大阪営業所]
〒553-0003 大阪府福島区福島 5-13-18 福島ビル 7階
TEL: 06-6451-0050



LIVEU

カメラをつないで即配信。
放送品質の Solo PRO をお手軽に。

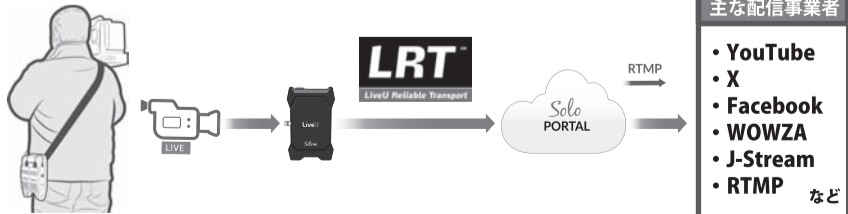
Solo PRO レンタルサービス開始!

Solo PRO レンタル機仕様

- 高品質ハードウェア・エンコーダ
- 4K 入力対応
- SDI/HDMI 入力端子
- ボンディング用 LTE 4 回線付き
- USB-C による電源供給
- RTMP 対応の多様なプラットフォームに配信可能

1日 36,300円 (税込)

<ご利用イメージ>



主な配信事業者

- YouTube
- X
- Facebook
- WOWZA
- J-Stream
- RTMP など

三信電気株式会社 ソリューション営業本部 映像システム営業部

〒108-8404 東京都港区芝 4-4-12 Tel: 03-5484-7270 / E-mail: eizo-info@sanshin.co.jp
https://www.sanshin.co.jp/solution/video/

AV SHOW 出展概要 6

編集用素材のアセット管理ソフト

ビジュアル・グラフィクス

ビジュアル・グラフィクスが取り扱うメーカーの出展概要は次の通り。

◆EditShare【ブースNo.N1251】
編集用素材アセット管理ソフトウェア「EditShare One」は、音声、顔、テキスト、シーンなどの情報を識別・構造化するための分析AIの機能を強化した最新バージョンをリリース。ノンリニア編集などのプロダクション業務向けデータ共有サーバー「Ultimate EFS NVMe Lite」は、コンパクトな8ドライブNVMeストレージサーバーで、1ノードあたり最大14GB/sのスループット



Ultimate EFSシリーズ

と最大122TBの物理容量に対応する。「Ultimate EFS Hybrid」は、超高速なNVMe層と大容量HDD層を単一筐体に統合した、ユニークかつコスト効率に優れたストレージサーバー。

◆Wasabi Technologies【ブースNo.N3061】
S3 API互換のオブジェクトクラウドストレージ「Wasabi hot Cloud Storage」は、Adobe Creative Cloudとの親和性を高めたWasabi Panel for Adobeのリリースと、AI技術に対応するWasabi Ai

Rの最新技術を披露。

Adobe連携プラグイン「Wasabi Panel for Adobe」は、Adobe Premiere ProやAfter Effects、PhotoShop、Illustratorなどで作成した各種データをWasabi Hot Cloud StorageにアプリケーションのUI上から転送可能。プロジェクトやクリップの読み込み・保存もUI上で完結させることができる。

AI対応インテリジェントメディアクラウドストレージ「Wasabi AiR」は、検索可能な自動生成インデックスが統合されたクラウドオブジェクトストレージ

◆Magstor【ブースNo.N1527】
LTOテープドライブ装置の開発に特化したハードウェアメーカー（米国）。世界初の特許取得済みThunderbolt3対応LTOテープドライブSlim „S” シリーズドライブや、USB4、SAS I/Fなど各種LTOドライブの開発を手掛ける。最新LTO

10に対応する各種ラインアップを出展。

◆ClouZen【ブースNo.C3031】
撮影カメラなどの各種メモリーカードを高速にコピーするスタンドアロンバックアップステーションを開発・販売するメーカー（韓国）。各種メモリーカードから内蔵SSDにPC不要でデータコピーができる小型バックアップ機の「TAINER」と、最大16枚の各種メモリーカードを3台のUSBドライブに同時にコピーが可能な「OFFLOADER」を展示予定。

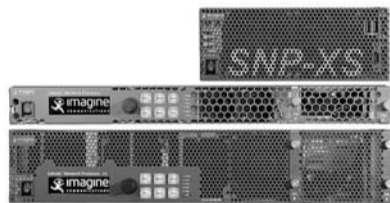
IP/SDI変換やメディア処理を統合

Imagine Communications

【ブースN1328】

IP/SDI変換やメディア処理を統合したIPゲートウェイの「Selenio Network Processor (SNP)」シリーズをはじめ、幅広い映像ソリューションを展示する。SNPはSDIとIP (ST2110、ST2022-6/7)間の双方向変換に対応するメディアプロセッサで、マルチビュー、JPEG XS、MADIなど機能を拡張できるライセンスも豊富。コンパクトモデル「SNP-XS」な

どのラインアップ拡充により、放送設備のIP化や柔軟なシステム構築を支援する。〈日本国内取り扱い：三信電気〉



Imagine SNPラインアップ

Capella Systems

【ブースNo.W3312】

ライブエンコーディング、ワークフロー自動化、最新の放送インフラに重点を置いた「Cambria」プラットフォームの機能を強化した。新製品の1つが、プロフェッショナルなストリーミングワークフロー向けに設計された新しいオンプレミス型ライブエンコーディングソリューション「Cambria Stream Solo」。Cambria FTCおよびCambria Stream Proと同じエンコード技術をベースに構築されているが、軽量で柔軟性の高いライブエンコーダーとしてパッケージ化されており、幅広いハードウェアプラットフォームで動作する。

Stream Soloは、配信に必要なすべてのプロファイルバリエーションを生成する完全なストリーム

オリジンとして動作することも、クラウド上の下流のCambria Streamエンジンにデータを供給する高品質のコントリビューションエンコーダーとして動作することもできる。

もう1つの大きな機能強化は、Cambria Stream Proに搭載される「ダイナミックスワップ」。ライブストリームを中断することなく、プライマリエンコーダーとスタンバイエンコーダー間でチャンネルをシームレスに切り替えることができる。

Cambria Stream SoloとCambria Stream ProはST2110に対応し、IPベースの放送設備に直接統合できるようになった。これにより、CambriaのエンコーディングエンジンはST2110の制作環境に自然に溶け込み、最新のIPルーティング、スイッチング、処理システムと連携して動作する。

Vizrt

【ブースNo.N2161】

Vizrtの展示内容は以下の通り。
◇AI Studio：スタジオ制作において、煩雑（はんざつ）なセットアップや物理的な制約から解放。AIがカメラ、バーチャルセット、グラフィックスをリアルタイムに最適化し、最小限の手間で最高級の番組演出を可能にする。

◇Augmented Live Sports：スポーツ中継におけるAR（拡張現実）とデータ統合の融合。試合をフ

ァンを熱狂させるプレミアムな体験へと昇華させる。

◇Story Production Hub：企画から配信まで。ライブ制作全体のスピード感を加速させる、制作チームの「心臓部」を提案。

◇Intelligent Live Production：大規模なスタッフがなくても、AIのサポートにより洗練された番組制作を実現。

◇Connected Storytelling：NDIによるシームレスなネットワークが、ストーリーテリングに究極の柔軟性をもたらす。

〈日本国内取り扱い：フォトルン〉

1G AVoIPソリューションを披露

エーディテクノ

【ブースNo.C1724】

放送局・制作スタジオをはじめ、企業・教育機関、さらにはアリーナやホールなど、幅広いプロフェッショナル用途に対応可能なDante AV Ultra製品群「D AVシリーズ」は、米国および欧州での先行リリースにおいて高い評価を獲得し、複数の国際的アワードを受賞している。

DAVシリーズは、最大4K60pの高画質映像を、知覚できないレベルの超低遅延で伝送可能な1G AVoIPソリューションとして、放送業界のみならず、ライブイベント分



DAVシリーズ

Studio Network Solutions

【ブースNo.N1129】

映像制作に特化した共有ストレージ「EVO」を中心とした映像制作ワークフローソリューションを展示。EVOはノンリニア編集環境に最適化された高性能NASで、Adobe Premiere Pro、DaVinci Resolve、Final Cut Proなど主要NLEに対応し、複数編集者による同時編集を可能にする。

素材の検索やプレビュー、メタデータ管理をするMAM機能の「ShareBrowser」、特定フォルダーへ保存するだけでトランスコードやバックアップなどを自動処理するワークフローエンジン

「Slingshot」、プロキシによるリモート編集やディレクタープレビューを可能にする「Nomad」などのツール群を組み合わせることで、制作から素材管理、遠隔編集までを統合した制作環境を実現する。〈日本国内取り扱い：三信電気〉



SNS EVO 16 Bay

アドビ

【ブースNo.N2141】

アドビは制作ソリューションの大規模アップデートを披露する。

Premiereの「カラーモード（ベータ）」は、専門知識がなくても直感的なカラーグレーディングが可能。操作内容をリアルタイムで可視化するアニメーションHUD（ヘッドアップディスプレイ）付き双方向コントロール

を実現した。フィルムエミュレーションとカラーエフェクトの個別あるいはプリセット適用が可能。After Effects「オブジェクトマットツール」は、AI搭載ロトスコープツールにより高精度なマスクを素早く生成する。

Frame.io Driveは、クラウド上のプロジェクトを直接マウントし、ローカルドライブのように扱えるアプリ。ファイルのダウンロードを待つことなく直接編集できる。

キヤノン

【ブースNo.C3825】

キヤノンはシネマレンズ「CINE-SERVOレンズ」シリーズから、業界最望遠という焦点距離200mmの「CN30×40 IAS」を展示する。従来機種（20倍ズーム）同等の全長・質量を維持しながら広角域・望遠域を拡大した。PLマウントに加えてラインアップしたRFマウントモデルでは、RFマウント通信により、従来機種で

はサポートしていなかった「デュアルピクセル CMOS AF」およびフォーカスガイド機能に対応する。また「EOS C400」と組み合わせることで、ズーム時に発生する光量低下を補正し明るさを一定に保つ「自動露出ランピング補正」を利用できる。

新リモートカメラコントローラー「RC-IP300」は小型で軽量。限られたスペースでも、IP入力映像を表示できる3.5型タッチパネルや充実した操作部によって直感的に実行できる。